

日赤おおつ

なから



「組立体操」院内保育所運動会より 写真提供：今村 真治(検査部)

滋賀県がん診療広域中核拠点病院・地域がん診療連携拠点病院
 高度救命救急センター・基幹災害拠点病院
 総合周産期母子医療センター・地域医療支援病院
 滋賀県肝疾患診療連携拠点病院・滋賀県難病医療拠点病院
 滋賀県エイズ診療拠点病院

大津赤十字病院

〒520-8511 大津市長等1-1-35
 TEL.077-522-4131 FAX.077-522-4385
<http://www.otsu.jrc.or.jp>

理念

私たちは「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、患者さまの人権と意志を尊重して、最善の医療を提供し、地域の人々の健康増進に努めます。

基本方針

- ① 患者さまと共にあゆむ医療を心がけ、プライバシーと権利を大切にします。
- ② 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
- ③ 救急医療に積極的に取り組み、災害救護に貢献します。
- ④ 地域の中核病院として他の医療機関との連携を推進します。
- ⑤ 研修・研鑽を積み、次代を担う医療従事者の育成に努めます。

■診療受付時間……午前8時から■初診患者さま……①初診■再診患者さま……②再来受付

ご紹介患者さまは

8時30分より⑩ご紹介患者
さま受付にて受付します。

❖病院敷地内禁煙にご協力ください❖

「ピロリ菌について」



第二消化器科部副部長 西川 浩史

数日前、今年のノーベル賞に、質量を形作る「ヒッグス粒子」を最初に唱えたヒッグス博士ら選ばれました。なんだか分かりにくい話ですが、とにかく凄いことみたいです。昨年はわれらが日本の山中伸弥先生が、「iPS細胞」でノーベル賞に輝きました。今後の医療を一変させる可能性があります。実はこれからお話す、「ピロリ菌」を発見したウォーレン博士らも2005年のノーベル賞を受賞されます。ピロリ菌の発見は世界が認める凄いことだったのです。ではピロリ菌について少しお話しします。ピロリ菌は人の胃の粘膜に住む菌で、らせん形の体に細いしっぽが何本か生えた形をしています。でも胃の中は強烈な胃酸があるのに、ピロリ菌はどうして生きることができるのでしょうか？実は胃の粘膜は粘液を分泌し薄い粘液の層をつくることで、自らも強烈な胃酸で溶けて胃潰瘍にならないようにしています。ピロリ菌はらせん形の体をすばやくくねらせ、この粘液の層の中で生きているのです。さらにピロリ菌自身はアンモニアというアルカリ性の物質を分泌し、身にまとい、酸を浴びても中和してすぐには溶けないようにしています。実は、ピロリ菌自身は酸に弱いことが知られています。ピロリ菌も頑張っているんですね。でも、こうしたピロリ菌の生き残りの活動が、胃の粘膜障害につながり、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、萎縮性慢性胃炎、やがては胃癌のリスクを高める結果になるわけです。このピロリ菌を除菌することで、これらの消化器疾患の再発予防や発症のリスクを減らすことができると考えられています。他にも除菌で、血小板減少症の一部や悪性リンパ腫といった病気の一部も治療できることが知られています。こうしてみると色々な病気の原因がわかったり、治療や予防ができたりするわけですから、ウォーレン博士らのノーベル賞医学・生理学賞受賞は当然のことだったわけです。

今年の春から慢性胃炎に対しても、ピロリ菌の検査や除菌の保険診療ができるようになりました。現在、日本人の4割がピロリ菌を持っているといわれています。感染率は年齢の高い人に多く、年齢の低い人に少ない傾向があります。多くは子どものころの、胃の免疫がしっかりしていないときに、経口から感染しており、大人になってからの感染は比較的まれと考えられています。また、除菌等の作業を行わないと、勝手にいなくなることもほとんどないといわれています。多くの人からピロリ菌が除菌されれば、前述の病気で困る患者さんが減ってゆくことが期待されています。気になる方はぜひ消化器科を受診してみてください。胃カメラ等でピロリ菌がいることが疑われれば、ピロリ菌のチェックをします。採血や採尿など色々な検査方法があります。そして、ピロリ菌がいるとわかれば必要に応じて除菌をします。除菌は抗菌剤等を1週間服用するだけですが、除菌には副作用などもありえるため、医師とよく相談して適応かどうかを決めましょう。

肝臓病教室のご案内

● 大津赤十字病院は、肝疾患診療連携拠点病院です

滋賀県における総合的な肝炎対策を推進するため、平成21年6月に「肝疾患診療連携拠点病院」の指定を受けました。

肝疾患医療の質の向上と肝疾患医療の均てん化、肝疾患診療体制の整備を図るとともに、検査・治療・普及啓発にかかる総合的な肝炎対策を推進することを目的としています。

● 取組みの1つ 『肝臓病教室』

地域で生活されている患者さまと、そのご家族さまの意識と知識の向上、ならびに肝臓疾患を抱えておられる患者さま同士の情報共有の場を提供することを目的として開催しています。当院に通院されていない方でもお気軽にお越しください。まずは、お電話にてご予約ください。

申込み窓口：大津赤十字病院 外来棟2階 内科⑧番 窓口

開催場所：大津赤十字病院 外来棟4階 母親教室

☎電話予約：077-522-4131 (事務局 企画調査課 平日8:30~17:00)

平成25年度 肝臓病教室スケジュール

日時	講演内容	場所
平成25年11月26日 (火) 15:00~16:30	C型肝炎	大津赤十字病院 外来棟4階 (母親教室)
平成26年1月28日 (火) 15:00~16:30	肝硬変	
平成26年3月25日 (火) 15:00~16:30	アルコール と肝障害	

講師から皆さまへ

皆さんは、「肝臓病」についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

お酒を飲んでばかりいる人がなる病気？ そういえば肝炎ウイルスについて、この前テレビでやってたなあ。健診で脂肪肝と言われたけれど、病院に受診しないといけないのだろうか？ 肝臓が悪くなったら痛いのだろうか？

皆さん一度はこのような事を疑問に思われたことはありませんか。

でも肝臓病ってよくわからないし…

肝臓病教室では、そのような一見難しい肝臓の病気をわかりやすくお伝えするべく、医師・看護師・薬剤師・栄養士が毎回テーマを決めてお話しします。そして、肝臓に関するあらゆる疑問にもお答えしております。

教室は2ヶ月に1回、奇数月の第4火曜日に開催しております。肝臓病でお悩みの方もそうでない方も、どなたでもご参加いただけますので、興味のある方はぜひお気軽にお越しください。

消化器科部副部長 近藤 雅彦



▲近藤医師による講義



▲看護師が簡単に出来る体操をレクチャー

「自宅でできる褥瘡対策」

皮膚・排泄ケア認定看護師 上村 笑

「床ずれ」ってご存知ですか？ 病院では、「床ずれ」のことを「褥瘡」と呼んでいます。自分で思うように体勢が変えられない場合には、この褥瘡ができる場合があります。体に麻痺やケガがあつてうまく動けない場合、意識がない場合、どこかに痛みがあつて好きな体勢が限られている場合、安静の指示がある場合などに注意が必要です。また、痩せていて骨が目立つような体型の場合には特に注意が必要です。

私たちは、長時間同じ体勢を続けると、圧迫がかかっている部位に痛みを感じます。この時、私たちは無意識のうちに圧迫を避けるように体勢を変えています。睡眠中に意識せず寝返りをうっているのも、その防衛本能が動いていると言えます。ですから、それが前述した様な理由でうまくできない場合は、何らかの補助が必要となります。補助には、他者の手助けで体勢を変える体位変換、また柔らかいマットや空気のマット（エアマット）などを使用することも有効です。しかしながら、在宅で体位変換が必要な方を介護されている場合、介護者の負担は大きいものになります。

最近の褥瘡の治療は、外用薬や貼り薬など、選択肢は増えています。しかしながら、出来てしまうと、ご本人には痛みが生じます。また、その傷の特徴から治療が難しい傷となることも少なくありません。その褥瘡の治療のためには介護される方にも新たな負担が生じます。褥瘡はやはり「作らない」予防が最も大切です。

そこで、介護に携わっておられる皆様、一人で抱え込んで無理されていませんか？ 夜中に目覚まし時計をかけて起き、体位変換をして疲れがたまっていますか？ 腰痛で自分の生活までもが辛くなって困っておられる方はおられませんか？ これからは、患者にも介護者にも優しい褥瘡の予防を考えていかなければなりません。

褥瘡の発生する危険性がどのくらい高いかを、その患者さまの状態から判断し、適切な寝具（柔らかいマットやエアマット、クッションなど）を使用することで、体位変換を減らすことができます。腰痛にならないような体位変換も提案できます。夜は患者さまも介護者の皆さまもゆっくり休める環境を提供していかなければなりません。

予防のためには早めの相談が重要です。褥瘡予防の寝具は、介護認定を受けることでレンタルすることもできます。まずは、担当のケアマネージャーさんに相談して、そこでさらに専門的な相談が必要な場合は、ケアマネージャーさんを通して、我々、褥瘡の専門家「皮膚・排泄ケア認定看護師」にご相談いただければと思います。「褥瘡」は、個人ではなく、多くの方が力を合わせて、皆で予防し、皆で治すものです。何か心配事がある方はお気軽にご相談ください。



褥瘡回診の風景



皮膚・排泄ケア認定看護師